

ボルグワーナー、小鹏汽車との電動モーター取引を拡大

- 将来投入が予定される2車種の小鹏汽車（シャオペン、XPeng）SUVに採用される800V油冷高電圧ヘアピン電動モーター
- ボルグワーナーの電動モーターは、出力・トルク共に密度が高く、高効率、高耐久性を実現
- ボルグワーナーの技術リーダーシップと顧客との長年のパートナーシップを強化

革新的で持続可能なモビリティソリューションを自動車業界に提供するボルグワーナー（NYSE: BWA/ 本社：アメリカ合衆国ミシガン州アーバンヒルズ、社長兼最高経営責任者：フレデリック・リサルド/Frederic B.Lissalde）は、2024年5月2日、中国のスマートEVメーカーである小鹏汽車（シャオペン、XPeng）と、今後発売予定の2車種のSUVモデルに搭載される2つの高電圧ヘアピン（HVH）電動モーター事業を獲得しました。今回の契約には、ボルグワーナーの先進的な油冷式800V電動モーター・システムが含まれ、車両向けにカスタマイズされたステーターとローター・コンポーネントにより構成されています。生産開始は2025年を予定しています。ボルグワーナーのHVH220電動モーターは、高い出力・トルク密度、高効率、優れた耐久性を提供します。

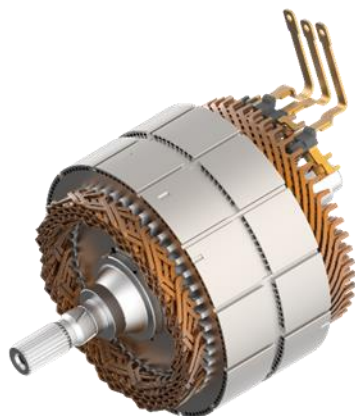
ボルグワーナー・パワードライブ・システムズ社のゼネラルマネージャー兼社長のステファン・デメール博士は、次のように述べています。

「小鹏汽車と電動モーター取引を拡大し、長年にわたるパートナーシップを発展させることができることを嬉しく思います。当社のHVH技術を継続的に進化させながら、お客様がこれから投入する2つのSUVモデルの効率が最大限になることに専心しています」

ボルグワーナーのHVH220電動モーターは、特許取得済み高電圧ヘアピン巻線技術を採用しており、800Vの電動システムに適合します。モーターのステーター外径は220mmとなっており、永久磁石口

ーターと独自のステーター絶縁強化技術を組み合わせており、比類のない耐久性と信頼性を確保しています。HVH220 は、最大出力 300kW、最高回転数 18,000rpm を実現し、ピーク効率は 97%を超えます。

ボルグワーナーは、高出力モーターの性能要件を満たすため、油冷式ソリューションを開発しました。モーター冷却用にギアボックスオイルを利用することで、熱伝導性と全体的な熱管理効率を最適化しています。さらに、ローターオイルを直接冷却することにより、電気モーターコアから熱を効率的に取り出し、より高いトルク・出力密度を実現し、性能をさらに向上させています。



ボルグワーナー、小鹏汽車との電動モーター事業で 2 件の追加契約を獲得

ボルグワーナーについて

ボルグワーナーは、130 年以上にわたり、モビリティのイノベーションを成功に導く、変革的なグローバル製品リーダーであり続けています。すべての人にとってよりクリーンで健康的、かつ安全な未来を築くために、世界の e モビリティへの移行を加速させています。

URL: <https://www.borgwarner.com/home>

本リリースには、経営陣の現在の見通し、期待事項、試算、推定に基づく1995年米国私募証券訴訟改革法 (Private Securities Litigation Reform Act) で想定された、将来予測に関する記述が含まれている場合があります。「見込む」、「考える」、「継続する」、「可能性がある」、「目的とした」、「影響」、「試算する」、「評価する」、「期待する」、「予測する」、「目標」、「指針」、「取り組み」、「意図する」、「場合がある」、「見通し」、「計画する」、「潜在的」、「予見する」、「推定する」、「追求する」、「目指す」、「すべきである」、「目標とする」、「の場合」、「でしょう」、「かもしれない」、およびこれらの語句の変化形や類似のものは、かかる将来予測に関する記述であることを意図しています。さらに、本リリースに含まれる、または参照する形で盛り込まれる、歴史的事実に関する記述を除く、当社の財務状況、事業戦略、および当該戦略を実施するための方策(事業の変更、競争力、目標、事業およびオペレーションの拡大・成長、計画、将来の成功への言及、その他の事項を含む)に関する、当社が将来発生すると期待または見込むすべての記述は、将来予測に関する記述です。最近提出されたフォーム 10-K(「Form 10-K」) 年次報告書の第7項「重要な会計方針および試算(Critical Accounting Policies and Estimates)」に記載されているような会計上の試算は、性質上、将来予測に基づくものです。すべての将来予測に関する記述は、当社の経験、当社の歴史的動向に関する解釈、現在の状況、予想される将来の展開に関する認識、および現況において適切と考えられるその他の要因に照らして当社が行った仮

定および分析に基づいています。将来予測に関する記述は業績を保証するものではなく、当社の実際の業績は、将来予測に関する記述において表現、推定または示唆されたものとは大きく異なる可能性があります。

本リリースの発行日現在における事柄を述べたものであるこれらの将来予測に関する記述を過度に信頼すべきではありません。将来予測に関する記述はリスクや不確実性を伴うものであり、その多くは予見困難であり、一般的に不可抗力によるものであるため、実際の結果は将来予測に関する記述で表明、予測、または示唆されているものとは大きく異なる可能性があります。これらのリスクおよび不確実性の代表的な例として、次のものがあげられます。当社または当社の顧客に影響を及ぼす供給の混乱、商品の入手可能性および価格設定、ならびにこれらのコストに関する顧客との交渉において期待されるレベルの回収率を達成できないこと；受託製造会社（OEM）の顧客を含む既存および新規の競合他社による競争上の課題；急速に変化する技術、特に電気自動車に関連する技術的課題、およびそれに対応する当社の技術革新能力；電気自動車に対する需要および電気自動車の売上成長を予測することの難しさ；戦争やその他の地政学的紛争によって引き起こされる世界経済の潜在的な混乱；適切な条件で買収対象を特定し、買収を完了する能力；買収によって期待される利益を適時に実現できない可能性；2023年に旧燃料系システム部門とアフターマーケット部門を非課税分社化して別個の株式公開企業としたことによる意図した利益が得られない可能性；取得事業を迅速かつ効率的に一体化できない可能性；取得事業に関する未確認または推測不能な債務の可能性；自動車およびトラック生産への依存性（いずれも景気に大きく左右され、混乱の影響を受けやすい）；大手OEM顧客への依存性；一部のOEM顧客における将来的なストライキの影響および当該OEM顧客の対処法；金利および外国為替レートの変動；情報システムへの依存性；世界的な経済環境の不確実性；様々な申し立てに関する訴訟を含む既存または将来の法的手続き、または関連する訴訟を含む政府による調査の行方；当社が事業を行っている国における税金や関税を含む法律や規制の将来的な変更；将来起こりうる買収または譲渡による影響；当社が証券取引委員会に提出する報告書（直近のForm 10-Kおよび/またはForm 10-Qの第1A項「リスク要因」）に記載されたその他リスク、など。当社は、期待事項の変更または記述の根拠となる事象、条件、状況、仮定の変更を反映するために、本発表文に含まれる将来予測に関する記述のいずれかを更新する、または更新・改訂内容を公表する義務を負いません。

<報道に関するお問い合わせ>

ボルグワーナー広報事務局 中込、浜辺、小野田

TEL: 090-7739-3601 (中込)、080-2032-2924 (浜辺)、090-9031-5032 (小野田)

EMAIL: borgwarner-pr@kyodo-pr.co.jp